

令和1年7月1日審議

1

申請者	脳神経外科医長	臼井 直敬
	2019-02	脳波－機能的MRI同時記録によるてんかん焦点及び伝播経路診断システムの開発
研究の概要	MRIは磁気により脳内の解剖学的な構造を細かい部分まで可視化し、脳波は頭皮につけた電極より脳内の電氣的活動を捉えるが、この二つの技術を融合させることで、理論的には脳波上の異常活動(つまりてんかん性活動)が脳内のどこで起きているのか正確に把握する事が可能となる。本手法のてんかん外科治療への応用をはかることが目的。	
判定	承認	本申請は承認された。